

「市立八幡浜総合病院経営強化プラン」の概要

1 策定の背景

限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用し、持続可能な地域医療提供体制を確保するため

2 計画期間

令和6（2024）年度から令和9（2027）年度までの4年間

市立八幡浜総合病院改革プラン（H21－H23）

市立八幡浜総合病院新改革プラン（H28－H32）

3 計画内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化（P. 13）

・地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

八西地域の中核病院としての医療提供体制の充実／救急医療体制の充実／地域医療機関等との連携／災害拠点病院、初期被ばく医療機関としての役割／診療科目の充実、政策医療機能の確保／医師・看護師の確保

・地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

医師会や訪問看護ステーション等と協力しての在宅診療の充実／医療・介護・福祉・健康との連携の中心的な役割／地域包括ケア病棟の運用開始を検討

・機能分化・連携強化

八西地区における唯一の二次救急指定病院として急性期を中心とした医療の提供／八幡浜・大洲喜多地区での広域二次救急輪番制の維持継続／へき地医療拠点病院として離島である大島・佐田岬半島にあるへき地診療所への医師派遣及び代診医派遣

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革（P. 18）

・医師・看護師等の確保

【医師確保】医師派遣及び寄附講座設置の継続要請（愛媛大学、山口大学、広島大学医局、県自治医科大学卒業医師）／不足する診療科の医師（内科、

脳神経外科、産婦人科等) について、愛媛大学へ要請／民間医師求人会社の活用／医師の住環境整備／手術支援ロボットの導入検討

【看護師等確保】看護師等修学資金貸与制度の活用／看護学生の実習受入／薬剤師を対象とした奨学金返済支援制度の活用／職員住宅（2棟目）の整備を検討

・ 医師の働き方改革への対応

【働き方改革】タスクシフト・シェアの推進による役割分担の見直し／八幡浜・大洲圏域での広域二次救急輪番制の継続による医師の負担軽減

(3) 経営形態の見直し (P. 19)

地方公営企業法の一部適用による病院運営を継続

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 (P. 20)

感染症病床（2床）、完全隔離病棟、陰圧病床（6床）の利用による新興感染症への対応 等

(5) 施設・設備の最適化 (P. 21)

・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

高額な医療機器であるCT、MRI、血管造影装置は購入後15年を目途に更新を検討／手術支援ロボットの導入を検討／病院本館は改築後15年から20年を目途に大規模改修を検討／医師住宅A棟の一体整備（新A棟建築、現A棟解体、外構整備）（R4～R7）／職員住宅（2棟目）建設に向けての協議開始

・ デジタル化への対応

医療情報連携／オンライン資格確認／電子処方箋／自動精算機・会計案内表示 等

(6) 経営の効率化等 (P. 22)

・ 経営指標に係る数値目標

経常収支比率 令和9年度末までに 100.3%

修正医業収支比率 令和9年度末までに 85.8%